



Title	Gallia46号 あとがき・奥付
Author(s)	
Citation	Gallia. 2007, 46, p. 71
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/21682">https://hdl.handle.net/11094/21682</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## あ　と　が　き

文学研究の分野においても共同研究が盛んに行われている昨今ですが、フランス文学研究室では「魅力ある大学院教育イニシアティヴ」のプロジェクトの一環として、「フランス文学小事典」を教員と大学院生が共同して作成しています。7名の教員が編著となり、22名の大学院在学生および近年修了した若手研究者が執筆者としてこのプロジェクトに参画しています。フランス留学中の学生や遠方住の執筆者も少なくないのですが、電子メールの威力は絶大で、原稿提出、校閲原稿の返却、修正版の再提出、問題点についての議論や質疑など、遠く離れたながらも瞬時に実行できるメリットは21世紀ならではの作業となりました。2年間の計画とはいうものの、実際の執筆・校閲作業は1年間で行わなければならず、本年度は研究室が一丸となって事典作成にあたりました。とりわけ在学中の学生たちの努力は並々ならぬもので、夏休みや冬休みも研究室に集まり、編集作業を進めてくれました。彼ら彼女らの献身がなければ実質1年で完成させることは無理だったでしょう。只今2月現在初校の校正を終えたばかりで、最後の正念場というところです。編著者の先生方も年度末の最も忙しい時期と校正とが重なったにもかかわらず、迅速かつ的確な校閲・校正をしていただき感謝しています。なお本事典は今年3月末に朝日出版社より刊行される予定です。本屋の店頭に置かれるはずですので、ガリア会員の皆様にはぜひともご購入いただきますようにお願いします。

事典作成という大事業を進めながらも、もちろん『ガリア』46号は立派に完成了しました。事典作成と『ガリア』編集作業とが同時進行になって、研究室には様々な原稿があふれているにもかかわらず、実に秩序立て作業が進められているのは、大学院生たちの能力の高さと献身的な努力のおかげです。この場を借りて感謝します。

(和田 章男)

### GALLIA XLVI

2007年2月28日印刷・3月3日発行

編集発行者

大阪大学フランス語フランス文学会

代表者 柏木 隆雄

〒560-8532 豊中市待兼山町1番5号

大阪大学文学研究科・文学部フランス文学研究室内

tel. & fax : 06-6850-5117

e-mail : gallia@let-jp.org

URL : <http://gallia.let-jp.org/>